

## 名古屋第二赤十字病院で診療を受けられる患者さんへ

### ～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	腎移植レシピエントにおける骨粗鬆症治療の有効性に関する観察研究		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2026年3月31日		
研究実施診療科	移植内科・移植外科・内分泌外科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2018年2月26日	
	院長が研究実施を許可した日	2018年3月6日	
対象となる方	対象期間内に生体腎移植レシピエントとして当院を通院中の患者様		
対象期間	(西暦) 2000年1月～(西暦) 2025年3月		
当院の研究責任者	所属	移植外科	氏名 渡井 至彦
主たる研究実施機関	名古屋第二赤十字病院		
研究の意義	当院では、骨粗鬆症を有する腎移植レシピエントに対してビスホスホネート製剤やデノスマブ、テリパラチドなどの骨粗鬆症治療薬を用いて治療を行っておりますが、それらの有効性については検討されておられません。また、先行研究においても腎移植後にエビデンスのある薬剤はいまだ明らかではありません。そこで、今後のエビデンスに基づいた腎移植後骨粗鬆症治療を行うためにも、当院における各種薬剤における骨粗鬆症治療の有効性を検討いたします。		
研究の目的	当院における各種治療法における骨粗鬆症治療の有効性を検討し、エビデンスに基づいた適切な腎移植後骨粗鬆症治療を行う。		
研究の方法	対象となる患者様において、血液検査結果と臨床情報を診療録を振り返って収集し、それらの関連性を統計学的に検討します。		
研究に使用するもの	診療録から、年齢、性別、術前の経過、治療中の経過、全身検査所見(血液検査、画像検査等の結果)などの情報を収集し、匿名化した上で使用します。		
結果の公表	関連学会および論文等で発表予定です。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所など、直ちに個人を特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係な番号をつけた上で、情報を破棄するまで厳重に保管・管理します。また結果の公表に際し、個人を特定できるような情報を公表することはありません。		

	せん。
研究の資金源	本研究は研究資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関する別の研究のために利用させて頂く可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
利益相反	本研究に関する利益相反はありません。
問い合わせ先	名古屋第二赤十字病院 移植内科・移植外科・内分泌外科 二村 健太 電話 052-832-1121 (代表)